

助産診断技術学(ハイリスク)

責任者・コーディネーター	成育看護学講座 西里 真澄 講師		
担当講座・学科(分野)	成育看護学講座		
対象学年	3	区分/単位数	講義/1単位
期間	後期		

・学修方針(講義概要等)

周産期にある対象がより健康で安全かつ主体的に各期を過ごすことができるよう、ハイリスク事例の健康状態の診断と助産ケアの基本について学修する。さらに助産ケアの提供にあたり、多職種との円滑なコミュニケーションに基づく展開方法についても体験的に学ぶ。具体的には妊娠期・分娩期・産褥期における異常事例に対する助産診断と助産ケアについて学修する。

・教育成果(アウトカム)

助産師には周産期の各期に起こりうる異常に関するスクリーニング能力が必要となる。この授業を通じ、妊娠期から産褥期における異常について、その症状や経過、治療方針および助産診断の基本について理解することができるようになる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。

・到達目標(SBO)

1. ハイリスク妊婦の状態をアセスメントし、重症化予防の観点からの支援を説明することができる。
2. 妊娠期における異常事例やマイナートラブルを抱えた事例に対する助産ケアについて説明することができる。
3. 分娩期進行に伴う異常を予測し、予防的なケアについて説明することができる。
4. 分娩期における事例に対し、異常発生の母子の状態から必要な介入を判断し助産ケアについて説明することができる。
5. 産褥期に起こりうる異常のメカニズムを学び、必要な助産診断の基本を説明することができる。
6. 産褥期における異常事例に対する助産ケアについて説明することができる。
7. 妊娠期から産褥期を通じ、ハイリスク妊産婦と家族への助産ケアの基本を説明することができる。

・授業日程

【講義】

会場： マルチ4-A講義室、マルチ3-A実習室、マルチ3-B実習室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
10/3 木 1限	<p>【授業内容】 妊娠期の異常事例に対する助産診断とケア①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠疾患(妊娠悪阻、妊娠高血圧症候群)、妊娠持続期間の異常(切迫流産・早産)、合併症妊娠等について、そのメカニズムと助産ケアについて説明することができる。 <p>【関連するSBO】1、2、7</p> <p>【事前学修:60分】母性看護方法論(2年後期)の「妊娠中の異常」について復習する。</p> <p>【事後学修:90分】Webclassに掲載された妊娠期の異常のメカニズムと助産ケアの要点をまとめる。</p>	成育看護学講座 西里 真澄 講師
10/3 木 2限	<p>【授業内容】 妊娠期の異常事例に対する助産診断とケア②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期に起こりうるマイナートラブルの予防と疾患との鑑別について説明することができる。 ・マイナートラブルに対する助産ケアについて説明することができる。 <p>【関連するSBO】1、2、7</p> <p>【事前学修:60分】母性看護方法論(2年後期)「妊娠中のマイナートラブル」について復習する。</p> <p>【事後学修:90分】Webclassに掲載されたマイナートラブルの事例に対する助産診断とケアについてまとめる。</p>	成育看護学講座 西里 真澄 講師

10/3 木 3限	<p>【授業内容】分娩期の異常事例に対する助産診断とケア①(グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・胎児機能不全の診断ができる。 ・胎児心拍モニタリングのレベル診断に基づいた対応について説明することができる。 <p>【関連するSBO】3、4、7</p> <p>【事前学修:60分】母性看護方法論(2年後期)「胎児心拍陣痛図(CTG)の判読」を復習する。</p> <p>【事後学修:90分】Webclassに掲載されたCTG所見のレベル診断と対応についてまとめる。</p>	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授
10/3 木 4限	<p>【授業内容】分娩期の異常事例に対する助産診断とケア②(グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分娩に伴う合併症(分娩期の異常出血、羊水塞栓症、絨毛膜羊膜炎、子癇発作)の病態と必要な助産ケアについて説明することができる。 <p>【関連するSBO】3、4、7</p> <p>【事前学修:60分】母性看護方法論(2年後期)「分娩時の異常」を復習する。</p> <p>【事後学修:90分】産科危機的出血のおもな原因疾患および産科危機的出血への対応フローチャートを確認する。</p>	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授
10/4 金 3限	<p>【授業内容】分娩期に起こりうる異常に対する助産師の役割(グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分娩期に起こりうる異常(肩甲難産、吸引分娩など)に対して、想定される場面の実践を通じ、必要な助産ケアと助産師の役割について具体化することができる。 ・医療安全と質の向上にむけたチームSTEPPSを理解し実施できる。 <p>【関連するSBO】3、4、7</p> <p>【事前学修:60分】母性看護方法論(2年後期)「分娩時の異常」を復習する。</p> <p>【事後学修:90分】SBAR、チェックバック、コールアウトを友人または家族と練習する。</p>	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授
2/3 月 5限	<p>【授業内容】産褥期の異常事例に対する助産診断とケア②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産褥期における乳房トラブル(乳腺炎、乳頭トラブルなど)の病態と助産ケアについて説明することができる。 <p>【関連するSBO】5、6、7</p> <p>【事前学修:60分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母性看護学演習(3年前期)の講義内容のうち「乳房トラブル(乳腺炎、乳頭トラブルなど)病態と看護」についての復習する。 ・教科書(助産学講座7)p346～353 を学修する。 <p>【事後学修:90分】産褥期における乳房トラブルの病態と助産診断の視点とケアについての要点をまとめる。</p>	成育看護学講座 高橋 淳美 講師
2/6 木 3限	<p>【授業内容】退院調整に向けた多職種連携の実際</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関から地域につながる切れ目ない支援の実際について理解することができる。 <p>【関連するSBO】2、4、6、7</p> <p>【事前学修:60分】教科書(助産学講座7)p250 表10-4の「家族・社会適応の診断」に掲載されている「社会資源」について、個々の概要を確認する。</p> <p>【事後学修:630分】90分:退院調整に向けた多職種連携について要点をまとめる。 540分:定期試験の対策を行う。</p>	成育看護学講座 西里 真澄 講師
2/12 水 4限	<p>【授業内容】産褥期の異常事例に対する助産診断とケア①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産褥期における身体的問題(子宮復古不全、産褥熱、深部静脈血栓症など)の病態と助産ケアについて説明することができる。 <p>【関連するSBO】5、6、7</p> <p>【事前学修:60分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母性看護学演習(3年前期)の講義内容のうち子宮復古不全、産褥熱、深部静脈血栓症の病態と看護について復習する。 ・教科書(助産学講座7)p304～332 を学修する。 <p>【事後学修:90分】産褥期の異常事例に関する病態と助産診断の視点とケアの要点をまとめる。</p>	成育看護学講座 高橋 淳美 講師

・教科書・参考書等

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ〔1〕妊娠期	我部山キヨ子他 編集	医学書院	2021
教	助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ〔2〕分娩期・産褥期	我部山キヨ子他 編集	医学書院	2021
教	母子健康手帳	岩手県健康福祉部	吉田印刷	2024
教	根拠と事故防止からみた母性看護技術	石村由利子 編	医学書院	2020
参	胎児心拍数陣痛図の評価と対応	産婦人科医会	産婦人科医会	2020

・成績評価方法

<p>【総括的評価】 定期試験70%、演習への取り組み状況30%にて評価する。なお、演習への取り組み状況は、演習での主体的・積極的態、事前準備として課した内容の遂行状態を含み、総合的に評価する。具体的な評価項目は講義開始時に提示する。</p> <p>【形成的評価】 ・授業内容毎に小テストを実施し、理解度を確認する。なお、小テストの点数は成績に反映しない。</p>
--

・特記事項・その他

<p>【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】 小テストや事後学修ノートから多数の学生が理解していない内容について、次の授業やWebclassでコメントを伝える等、学生にフィードバックし、内容の理解と知識の定着を図る。</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】 助産師(別表2):助産診断・技術学</p>

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター(VPL-FWZ60)	1	講義・演習用スライド投影
講義	書画カメラ(P-100)	1	講義資料投影
講義	分娩台マミージョイ LDR	2	異常分娩シミュレーション
講義	リザーバー付き酸素マスク	2	異常分娩シミュレーション
講義	分娩介助モデルセット(分娩用外陰部Ⅱ型)	2	異常分娩シミュレーション